



MY SUCCESS POINT

疑問点はネットで検索、
YouTubeも活用

2019年度 第2回CFP®資格審査試験

11月10日(日)
11月17日(日)

詳細は協会ホームページ
(<https://www.jafp.or.jp/>)
をご覧ください



立山 連太郎さん

あいら農業協同組合
(鹿児島県)

2015年11月「相続・事業承継設計」合格
2016年6月「タックスプランニング」合格
2016年11月「リスクと保険」合格
2017年6月「ライフプランニング・リタイアメントプランニング」合格
2017年11月「不動産運用設計」合格
2018年11月「金融資産運用設計」合格
2019年6月 CFP®資格認定

1回1課目のペースで
着実に合格を果たす

CFP®試験の定番問題や重要問題は、Myページの「CFP®試験 過去問ピックアップ解説!」で詳しく解説しています。

Myページ

<https://members.jafp.or.jp/>

お客様に最適なアドバイスの裏付けに

私は鹿児島県の農業協同組合 (JA) に勤務しています。地域に根差して組合員、利用者の方々の生活を「共済」という仕組みを通してお守りするのが私の仕事です。仕事に関連して、相続をはじめ様々な相談を受ける機会も多いことから、FP資格を取得しました。そして鹿児島支部の活動に参加するうち、CFP®資格取得を勧められたのです。

1回の試験で2課目または3課目、まとめて受験される方も多いと思いますが、私は1課目ずつ受験することにしました。理由の1つはテキストを見てどの課目も広範囲だと感じたからでした。1つひとつの課目をじっくり学ぶことで、より深く理解し、知識を着実に身に付けたいと考えたのです。また仕事と勉強を両立するためにもあえて1課目に絞りました。これは私にとっては無理のない、いいペース配分になったと思います。

試験勉強は試験のおよそ3カ月前から始めました。平日は時間で区切るのではなく、1日に解く問題数を10問、15問と決めて結果的に1時間くらい勉強しました。さらに2カ月ぐらい前からは土日については時間を区切り、1日5時間くらいの学習時間をとるようにしました。とはいえ、土日はどうしても予定が入ってしまうように時間がとれないことも多くあり、平日の勉強がポイントになったと思います。

教材は市販の過去問題集を使いました。この問題集を5回以上解くことを基本に、わからないところは、支部の継続教育研修で出会ったCFP®認定者の方に質問したり、YouTubeやインターネットで検索して解決していきました。

課目は試験日程とは逆の順番から、「相続・事業承継設計」→「金融資産運用設計」と受験していきました。当初、CFP®認定者の方々から「金融資産運用設計」が難しいということをお聞きしていたの

で、最初に受験しようと考えたのです。しかし、過去に出題された問題を見ると、自分にとっては難易度が高いと感じました。早い段階でこの高いハードルにあたると、あきらめてしまうかもしれません。そこで、他の課目から受験し、「金融資産運用設計」を最後にしました。最後に残せばいやでもここを越えるしかありません。それは自分自身を追い込むためでもありました。

予想どおり、最後に残った「金融資産運用設計」には苦勞しました。一度不合格になったことで、テキストだけでは理解することが難しいと判断し、DVDの教材を購入しました。視覚で知識が入ってくることや、要所要所の問題の解き方が理解できる点、時間配分のポイントなどもわかり、私にとっては有効な教材でした。

鹿児島支部の活動を通じて知り合ったCFP®認定者の方々は私にとっての目標であり、時には励ましを受けました。このネットワークがなければ、3年かけて挑戦するというモチベーションを維持するのは難しく、6課目の合格は果たせなかったのでは、と感じています。

念願のCFP®認定者になり、試験勉強を通して得た知識を基に、様々な角度から組合員、利用者の方々に横断的な情報提供を行っています。これからも地域の方々のそれぞれのライフプラン実行のサポートをしていきたいと思っています。

体験談登壇者募集!!

CFP®試験の合格体験エピソード、勉強法などをお寄せください。①会員番号(必須) ②氏名 ③昼間の電話ご連絡先 ④ご自身の体験(形式は自由)を明記のうえ、Eメールにてご応募ください。採用の方には、編集出版課よりあらためてご連絡いたします(追加取材をさせていただく場合がございます)。なお、採否のお問い合わせにはお答えしかねます。悪しからずご了承ください。

体験談送付先 ⇒ journal@jafp.or.jp
件名は「合格体験談」係